

**COMMAND
REFERENCE
GUIDE
PECKER-11**

**FLASH
PROGRAMMER**

 **AVAL DATA CORPORATION**

★印のコマンドは電源OFF状態でも認定内容が保持されます。
()内のキー操作は省略することができます。

PROGRAM MODE プログラム・モード

キーオペレーション

コマンド
キャラクタ

コマンド

[BLNK] [SET]

BL [ブランクチェック] PROMが消去されているか確認します。

[PROG] [0] ~ [4] [SET]

PG [オートプログラム] バッファRAMのデータをPROMへ書き込みます。
(ブランクチェック→プログラム→ベリファイチェック)

[—] [PLOG] [0] ~ [4] [SET]

PO [プログラム] オートプログラムのブランクチェックを省きます。

[VRFY] [0] ~ [4] [SET]

VF [ベリファイチェック] PROMとバッファRAMの内容を比較します。

[LOAD] [0] ~ [4] [SET]

LD [ロード] PROMのデータをバッファRAMへロードします。

[BLNK] [PROG] [SET]

ER [EEPROM イレース] EEPROMの消去を行います。

注) [0] ~ [4] はRX-1搭載時

[0] (ALL) バッファRAM全データ [1] (EVEN) バッファRAM偶数アドレスデータ [2] (ODD) バッファRAM奇数アドレスデータ

[3] (WORD) ソケットB, Cで16Bitの同時書き込み [4] (SERIES) ソケットB, Cでの連続アドレスの同時書き込み

OTHER MODE その他

キーオペレーション

コマンド
キャラクタ

コマンド

[JOB] [SET] [0]

DO [オートデバイスセレクト] デバイスに内蔵されているIDコードを読み取り、自動的に対象デバイスを設定します。

[JOB] [SET] [1] [0] ([SET] or [—]) [JOB]

DV0 [デバイスセレクト/メーカー名] 書き込みデバイスと書き込み方式を選択します。★

([JOB] [SET] [1]) [1] ([SET] or [—]) [JOB]

(DV)1 [デバイスセレクト/型 名] ★

([JOB] [SET] [1]) [2] ([SET] or [—]) [JOB]

(DV)2 [デバイスセレクト/容 量] ★

([JOB] [SET] [1]) [3] ([SET] or [—]) [JOB]

(DV)3 [デバイスセレクト/書き込み方式] ★

[—] [SET] [1] [SET]

CH [アダプタ交換] バッファRAM内のデータを保持したままPecker-11のアダプタを交換します。

[—] [SET] [2] [SET]

SU [メーカーセットアップ] Pecker-11各種設定項目をメーカー出荷時の設定に初期化します。★バッファRAM内のデータは保持します。

EDIT MODE エディットモード

キーオペレーション	コマンド キャラクタ	コマンド
JOB [] ([SET] or []) JOB	ES	[編集データ単位] RAM編集におけるデータ長の選択を行ないます。(バイト、ワード選択)※RAM編集時に影響します。
JOB 0 アドレス SET データ SET or [] or JOB	ED	[RAM編集] バッファRAMのデータ参照および変更を行います。
JOB 1 アドレス SET データ SET or [] or JOB	E2	[ROM編集] ソケット上のデバイスのデータの参照および1バイトのプログラミングを行います。※JOB SET [] にて1バイトプログラム可能にしてください。
JOB 2 アドレス SET アドレス SET アドレス SET	MV	[ムーブ] バッファRAMの指定区域のデータを別の区域へ移動を行います。
JOB 3 アドレス SET アドレス SET データ SET	FL	[フィル] バッファRAMの指定アドレス間のデータを書き換えます。
JOB 4 アドレス SET アドレス SET データ SET 挿入サイズ SET	IN	[インサート] バッファRAMの指定アドレスにデータを割り込ませます。
JOB 5 アドレス SET アドレス SET アドレス SET データ SET	DL	[デリート] バッファRAMの指定区域を削除します。
JOB 6 アドレス SET アドレス SET データ SET .. SET SET	SR	[サーチ] (最大8個) バッファRAMの指定区域で指定したデータ列を検索します。
JOB A SET	CL	[バッファクリア] バッファRAMの全域をクリアします。
JOB B SET	BI	[バッファ反転] バッファRAMの全域をビット反転します。

COMMUNICATION MODE コミュニケーション・モード

キーオペレーション	コマンド キャラクタ	コマンド
SET 0 ([SET] or []) JOB		[ビット構成の設定] シリアルデータのビット構成を選択します。★
SET 1 ([SET] or []) JOB		[ボーレート] シリアル転送速度を選択します。★
SET 4 ([SET] or []) JOB		[シリアル制御] シリアル転送を行なう際の制御法を選択します。★
SET 5 ([SET] or []) JOB	FM	[転送フォーマット] 転送フォーマットを選択します。★
SET 6 アドレス SET	OF	[オフセットアドレス] 転送フォーマット内のロケーションアドレスに対するオフセットを設定します。
JOB C 0 (アドレス) SET (アドレス) SET	TR	[シリアルデータ送信] バッファRAMデータをシリアル/Fより出力します。
JOB C 1 (アドレス) SET (アドレス) SET	TC	[パラレルデータ送信] バッファRAMデータをパラレル/Fより出力します。
JOB D 0 (オフセットアドレス) SET	RR	[シリアルデータ受信] バッファRAMにシリアル/Fからデータを入力します。
JOB D 1 (オフセットアドレス) SET	RC	[パラレルデータ受信] バッファRAMにパラレル/Fからデータを入力します。
JOB D 2 (オフセットアドレス) SET	RA	[AVALフォーマット高速受信] バッファRAMにパラレル/FからAVALフォーマットにてデータを高速受信します。